



事業説明会

株式会社シーイーシー | 9692 |



大北 敦司

株式会社シーイーシー
取締役 執行役員
インテグレーションセグメント
「品質革新」担当



酒井 靖男

株式会社シーイーシー
取締役 執行役員
コネクティッドセグメント
「技術革新」担当



高木 英樹

株式会社シーイーシー
取締役 執行役員
ソリューションセグメント・営業グループ
「マーケティング&事業戦略」担当

Agenda

目次

1 インテグレーションセグメント

2 コネクティッドセグメント

3 ソリューションセグメント

インテグレーションセグメント

ミッション

ICTで顧客の社会課題解決に貢献する

コンセプト

顧客の潜在ニーズを具現化し、牽引型インテグレーションで 社会課題・顧客課題の解決に貢献

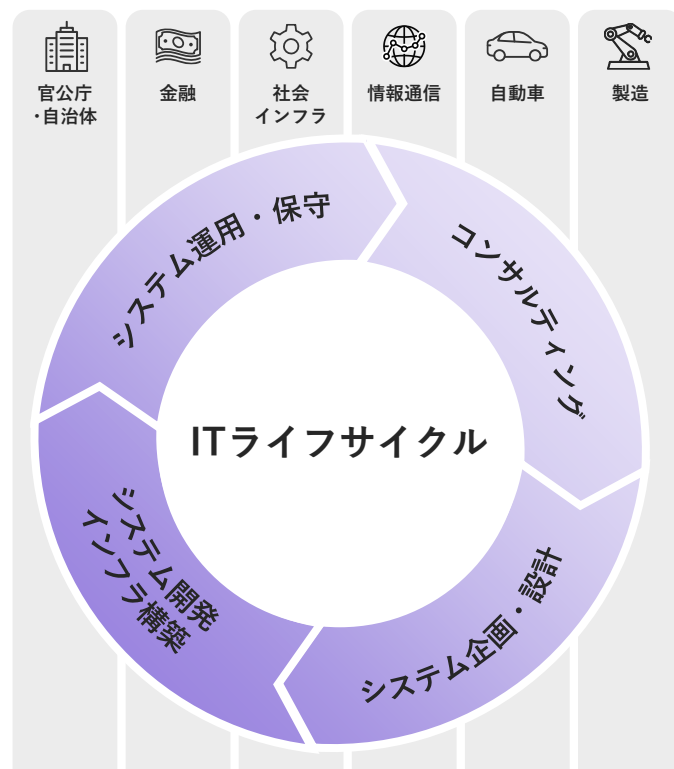
実現すること

1. 顧客の真の課題に対する洞察力を備え、企画構想段階からの支援を強化、社内外の製品を有機的に連携することで**顧客の求める最適なサービス**を提供する
2. 様々な業務知見を通じて蓄積したナレッジをベースに、**顧客課題を解決に導くサービスラインアップを拡充**する
3. 顧客深耕とサービスラインアップの拡充を通じ、その先にある**顧客業界、更には社会課題の解決に向けた共創**に顧客やパートナー会社と取り組む

– 牽引型インテグレーションで社会・顧客課題の解決をサポート

システム・インフラ構築事業

システム構想の企画・構想から維持保守まで、システムライフサイクルをトータルでサポート



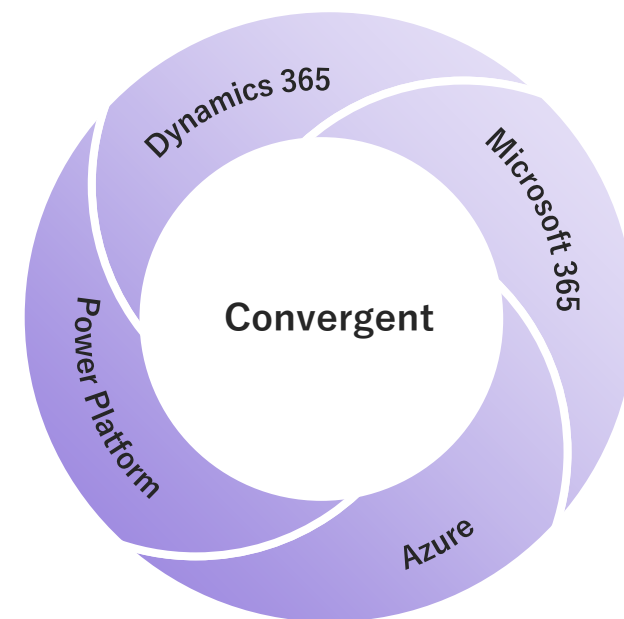
マイグレーションサービス事業

レガシーシステムが抱える問題を解決し、新しい価値を生み出すICTモダナイズーションを実現



マイクロソフトサービス事業

マイクロソフト クラウドサービスに独自ノウハウを組み合わせ、業務効率化・生産性向上を実現



- “アカウント深耕”と“サービスの拡充と活用”の2軸に注力し、顧客の課題解決への貢献を達成する
将来的には、“共創”によって社会貢献の一翼を担う

1st ステージ 中期経営計画 2025-2027

顧客の課題解決への貢献

- アカウント深耕に向けた取り組み強化
キー顧客を18社に拡大
- サービスの拡充と活用による解決施策の強化
3サービスに拡充

2nd ステージ 中期経営計画 2028-2030

顧客の課題解決、 および顧客業界の課題解決への貢献

- アカウント深耕と課題解決の徹底
キー顧客を30社に拡大
- サービスの拡充と活用による解決力の強化
10サービスに拡充

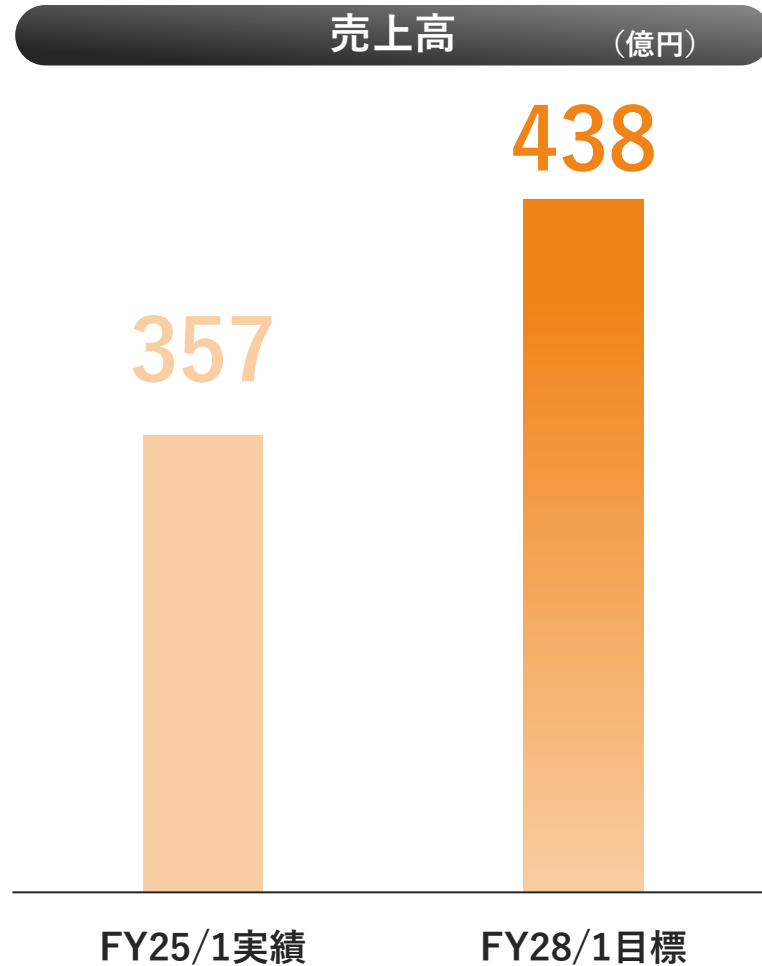
+

- 共創による社会貢献
顧客・パートナー・社会といったステークホルダーとの共創による社会貢献

VISION 2030

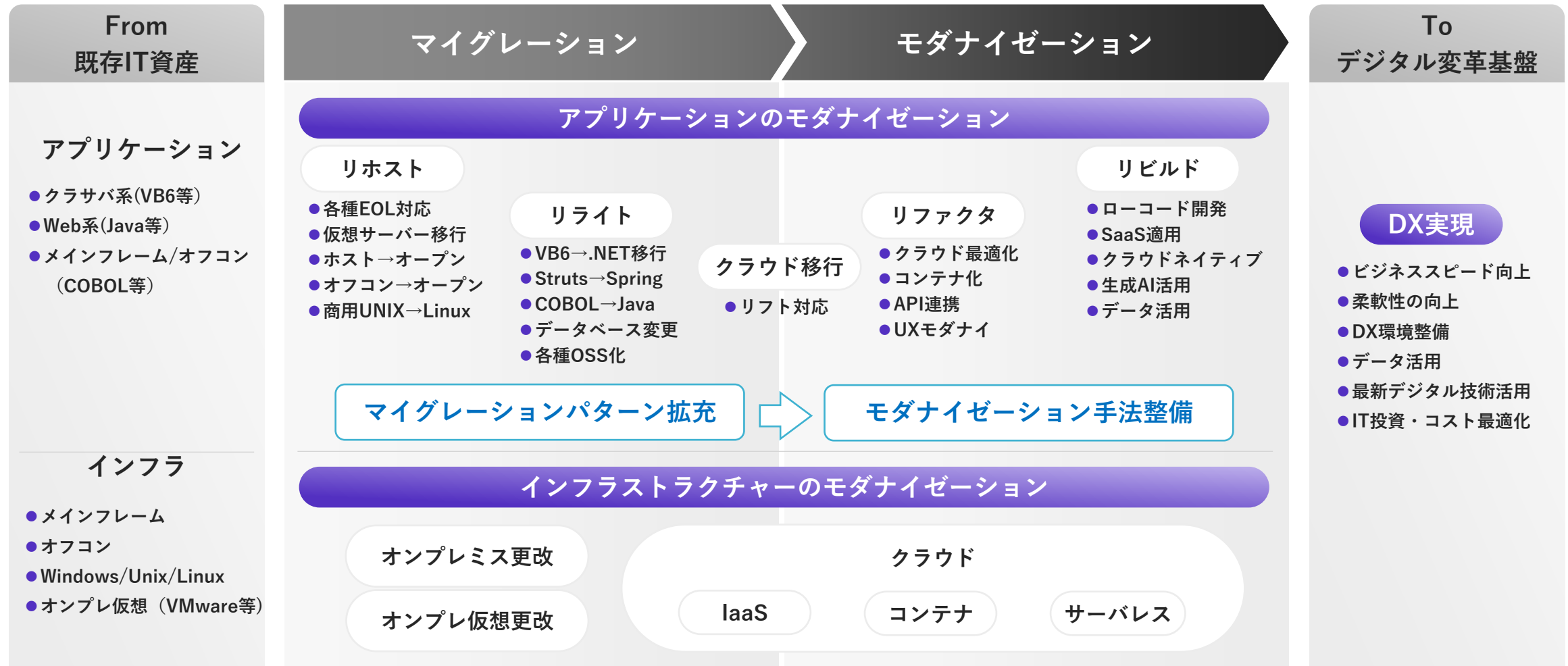
ICTで顧客の
社会課題解決に貢献する

- “アカウント深耕”では、上流工程への支援拡大や一気通貫のサポート提供を実現
- “サービスの拡充と活用”では、既存サービスの継続的な拡充と、様々な製品・サービスとの融合を強化



注力ポイント	
アカウント深耕	<ul style="list-style-type: none"> ● 上流工程へのサービス提供 ● 一気通貫のサポート提供 ● 社内外のサービスを活用した提供価値向上 ● 協業パートナーとの関係性深化 <p>KPI キー顧客：12社 → 18社</p>
サービスの拡充と活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 継続的な提供サービスの拡充（マイクロソフトサービス、マイグレーションなど） ● 自社他社問わず、様々な製品・サービスと新技術を融合させたインテグレーション力の強化 <p>KPI 売上比率：17% → 23%</p>

– マイグレーション領域から、より広範囲なモダナイゼーションへ深化



– “アカウント深耕”、“サービスの拡充と活用”の取り組みを通じ、顧客DXを実現するサービスインテグレーションを実現



コネクティッドセグメント

ミッション

産業の垣根を越えて、顧客や事業を
デジタル技術とデータでつなぎ、創造社会に貢献する

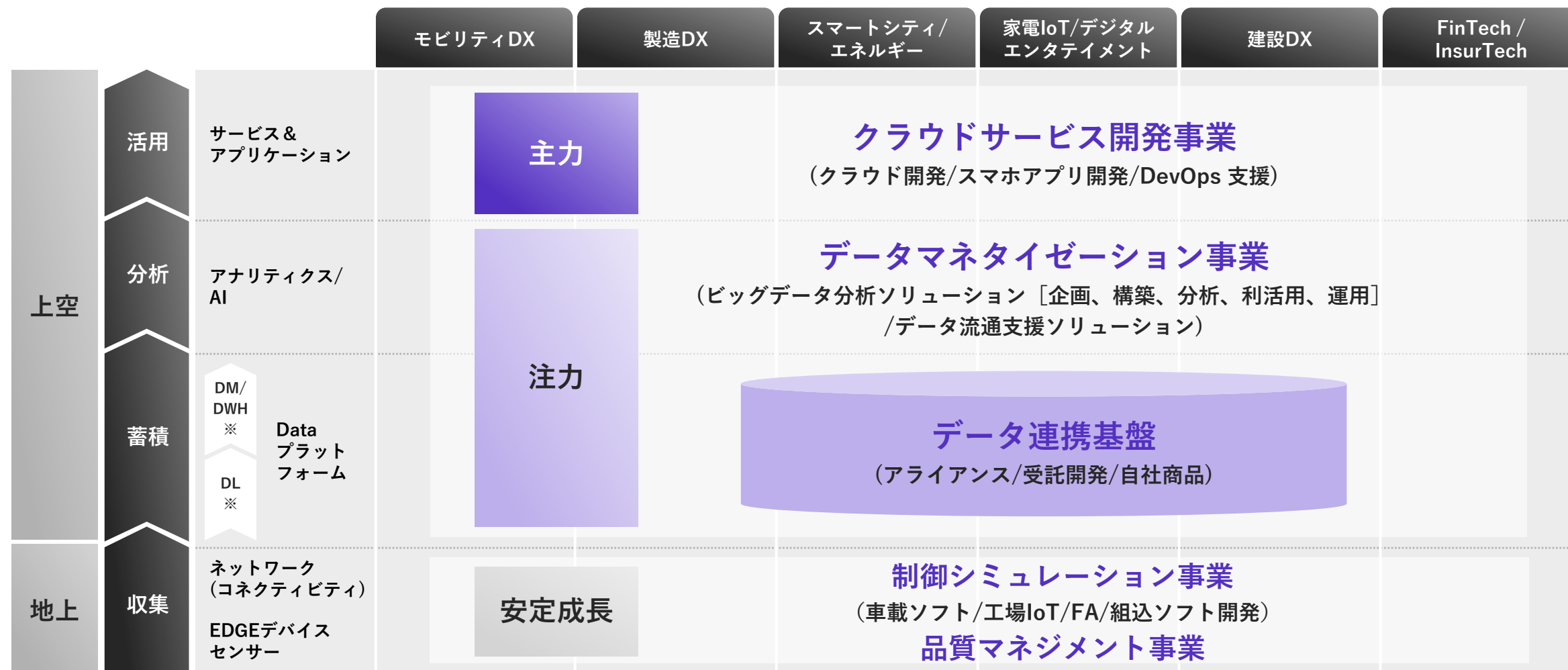
コンセプト

ビジネスイノベーターとして、
データ流通によって産業の垣根がなくなる未来の実現へ

実現すること

1. パートナーとともに、企業間・産業間をつなぎ、
データを集約・利活用するデータ連携基盤を社会実装する
2. データを起点に、顧客の求める新たなサービスを企画・開発・提供する
3. 顧客事業の先にある、社会課題にフォーカスした独自のデータ分析ソリューションを展開する

- エッジとクラウド両面の強みを生かし、4つの事業間でシナジーを創出しながら、産業の垣根を超えたIoTビッグデータの利活用を推進

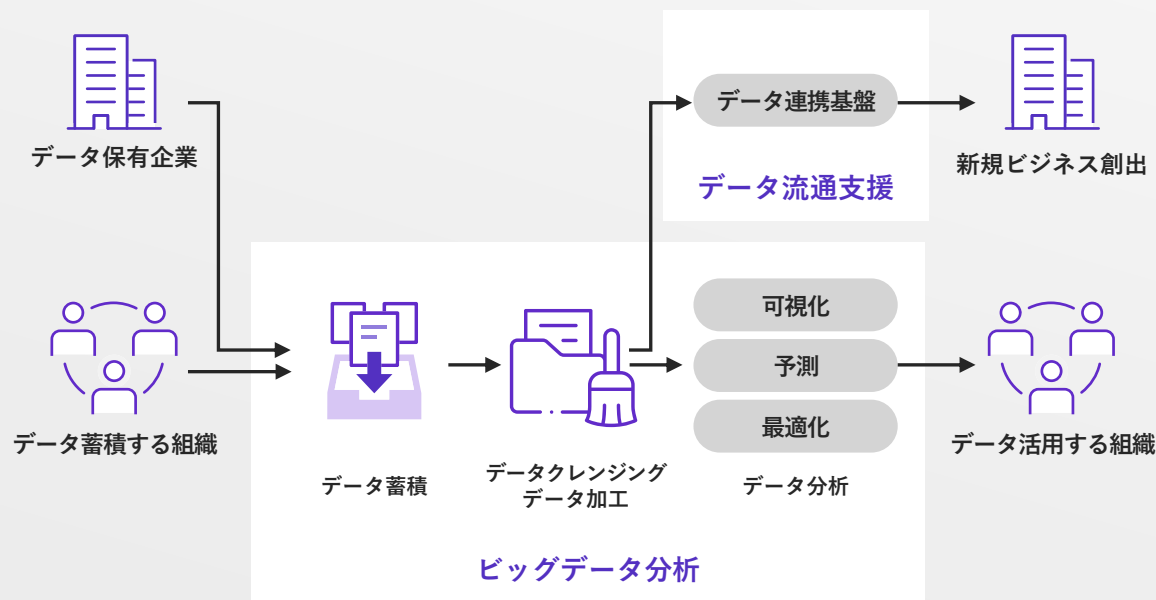


※ DM (データマート)、DWH (データウェアハウス)、DL (データレイク)

– 産業の垣根を越えて、お客様企業や事業をデジタル技術とデータでつなぎ、創造社会に貢献

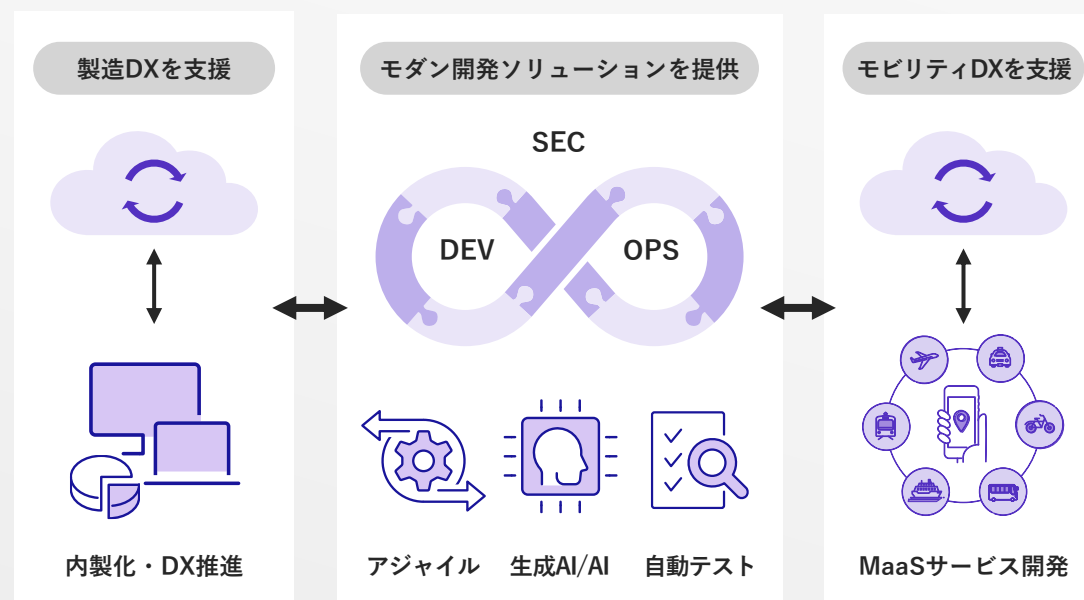
データマネタイゼーション事業

データ分析のための環境提供や、
利活用による新たな価値創出を支援



クラウドサービス開発事業

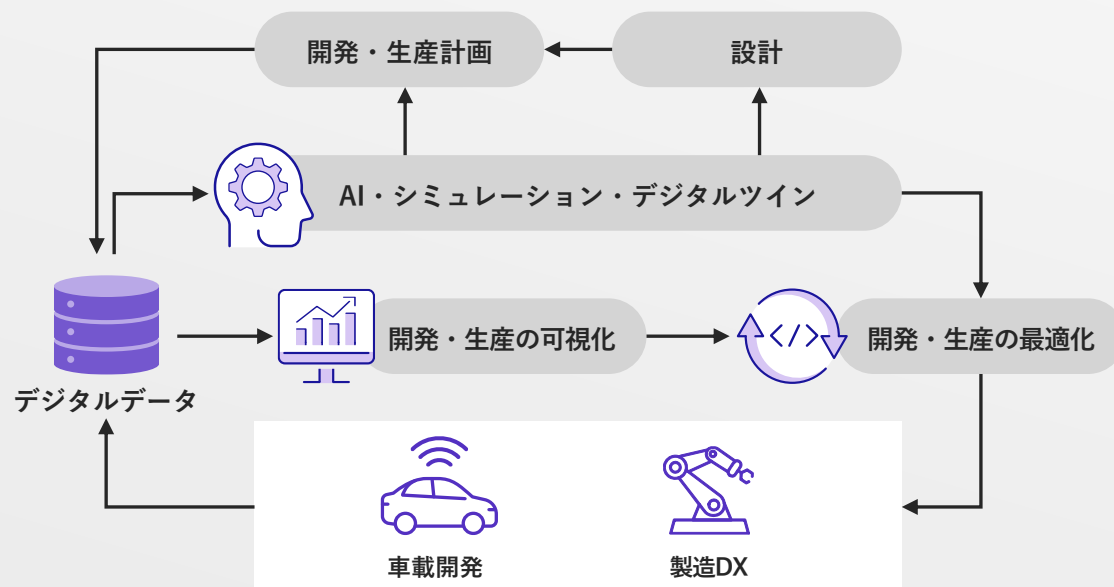
クラウドアプリケーションの
企画から運用保守までの開発支援と、DevOps環境を提供



– 産業の垣根を越えて、お客様企業や事業をデジタル技術とデータでつなぎ、創造社会に貢献

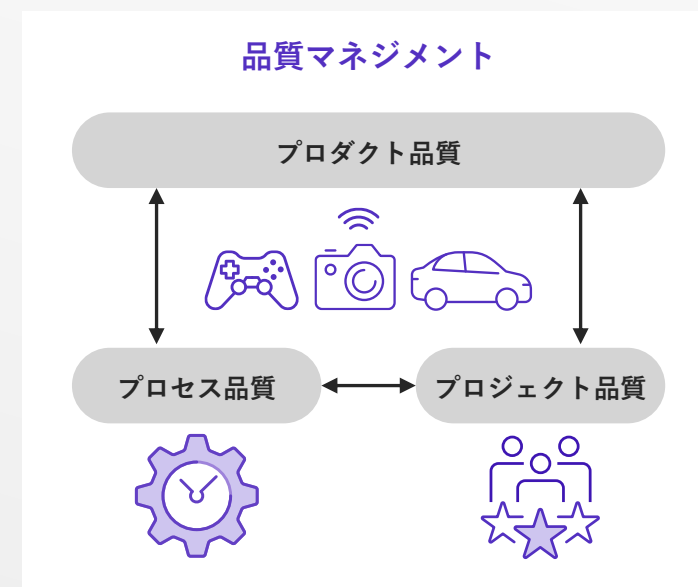
制御シミュレーション事業

フィジカルとサイバーを融合させ
効率的なIoTシステム開発



品質マネジメント事業

「プロダクト」「プロセス」「プロジェクト」の
切り口でIoTシステムの品質を向上



- 1st ステージで将来のビジネスに向けた投資および基盤作りに注力
- 2nd ステージでは、ビッグデータの利活用に関するコンサルティングやデータ流通などのデータマネタイゼーション事業をさらに拡大・成長させ、ビジョンの達成を目指す

1st ステージ 中期経営計画 2025-2027

注力事業

- **ビッグデータ収集・蓄積・分析サービスの拡充**
データ分析プロセスの企画・開発・運用サービスのワンストップでの提供、データ分析基盤サービスの開始

主力・安定成長事業

- **クラウドサービス開発事業**
モビリティDX開発を更に拡大。DevOps ソリューション展開
- **制御シミュレーション事業**
車載、FA、工場IoT連携で、シミュレーションやデジタルツインソリューション展開
- **品質マネジメント事業**
AI のテスト生成など産業横断サービス拡充

2nd ステージ 中期経営計画 2028-2030

注力事業

- **データマネタイゼーション事業の拡大**
ビッグデータ分析からマネタイズビジネス展開、データ流通支援ソリューションの立ち上げ、データ利活用市場の創出

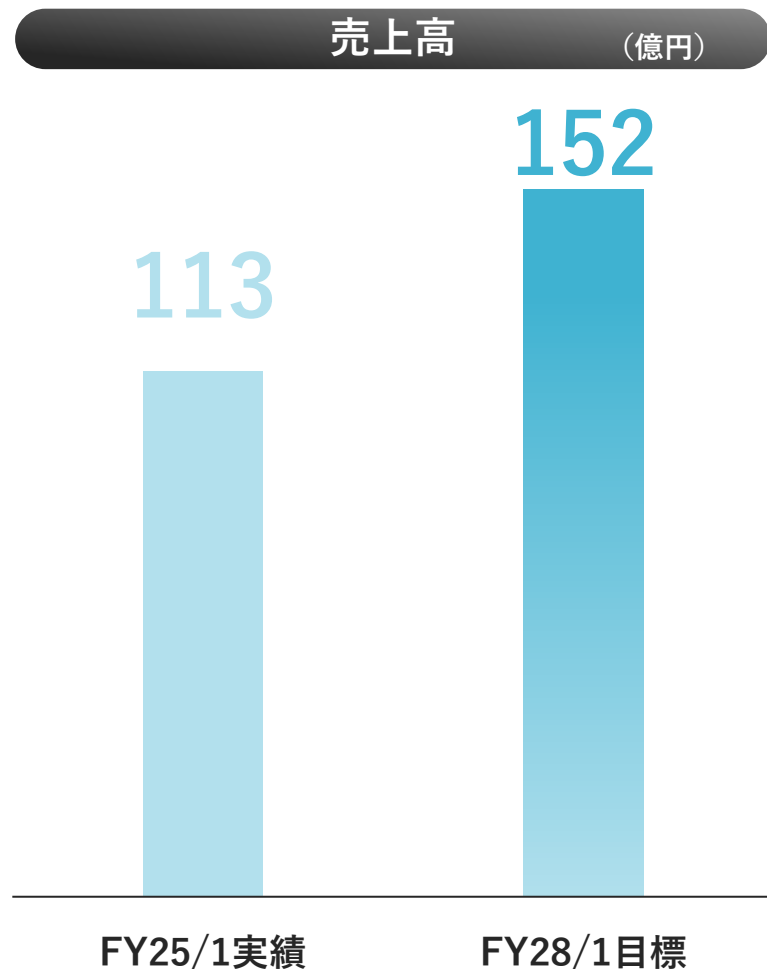
主力・安定成長事業

- **クラウドサービス開発事業**
データ起点による事業創出において、顧客サービス開発の企画から参画
- **制御シミュレーション事業**
工場⇄MES⇄データ基盤でデータをつなぎ、GXソリューションを展開
- **品質マネジメント事業**
IoTシステム開発全体において、プロダクト・プロセス・プロジェクトの3つの軸で品質をサポート

VISION 2030

産業の垣根を越えて、
顧客や事業をデジタル
技術とデータでつなぎ、
創造社会に貢献する

- 知見のあるモビリティや工場IoTのビッグデータ分析基盤構築をさらにサービス強化・成長させ、その先のデータ利活用による新たな価値創出を推進し、クラウドサービス開発事業とのシナジーでさらに拡大



注力ポイント

データマネタイゼーション事業の成長

- モビリティや工場IoTのビッグデータに対する知識や分析/加工して利活用する知見を強みにサービス領域拡大、およびデータ分析基盤サービスの開始

KPI

新規顧客数：20社以上

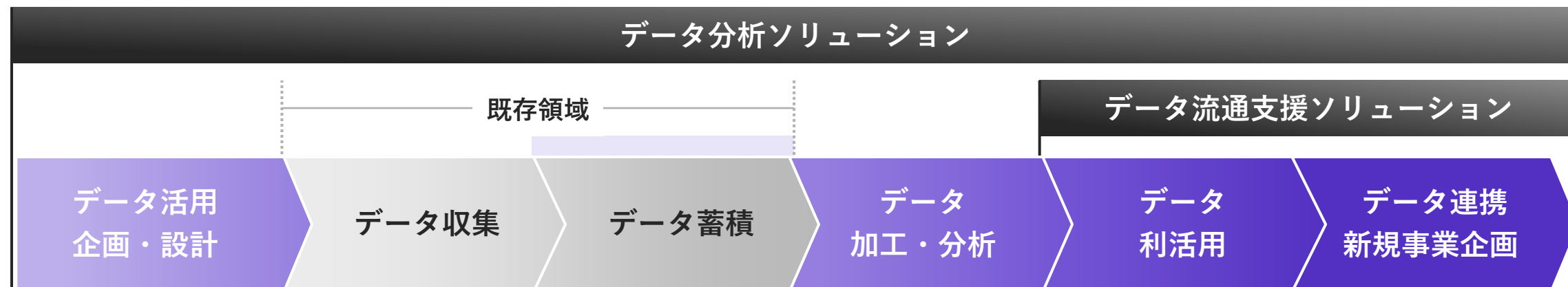
クラウドサービス開発事業の拡大

- DevOps支援サービスやAIやクラウド技術の活用などでアプリ開発を高度化し拡大
- 開発力を更に強化し、モビリティDX市場以外の複数産業への展開

KPI

新規顧客数：30社以上

- 大量データを効率的に蓄積・分析する「データ分析ソリューション」と、データを流通させ新規事業における価値創出や社会課題の解決を支援する「データ流通支援ソリューション」で構成



1 データ分析ソリューションの提供範囲を拡張

データ分析の企画、データ収集I/F、基盤構築、データ分析、クラウドの運用保守まで、サービスを提供できるプロセスを拡張する。また、モビリティやスマートファクトリーの知見を生かし、データ分析・利活用を強化

2 iPaaS型サブスク提供

社内外のデータをスムーズに収集・活用できる統合基盤を提供

3 データ流通支援ソリューション

企業・産業を越えデータを流通させて新規事業における価値創出や、社会課題の解決を支援

- ビッグデータ分析基盤構築の企画からデータ収集 IF、BI、利活用、運用保守まで領域拡大しサービスを拡販
データ分析基盤を自社サービスとして開発し提供、データ利活用をマネタイズビジネスとして展開



ソリューションセグメント

ミッション

卓越したICT技術で
“安心・安全”な社会の実現に貢献する

コンセプト

安心・安全な社会をICT技術で支える
ソリューションプロバイダー

実現すること

1. 様々な顧客へのサービス提供を通じて蓄積した技術資産を形式化・体系化し、
社会インフラに貢献する新たなソリューションを創出する
2. 複数の業種への開発・運用で培った技術資産を活用し、産業間の垣根を超え、
業界連携を可能にしたサービスを開発し提供する
3. パートナーとともによりセキュアな領域へサービスを拡張すると同時に、
官民連携を可能とした安心・安全なシステムを社会に実装する

– セキュリティ技術とデータセンターサービスを活用し、多様な分野に対応したソリューションを提供

データセンター事業

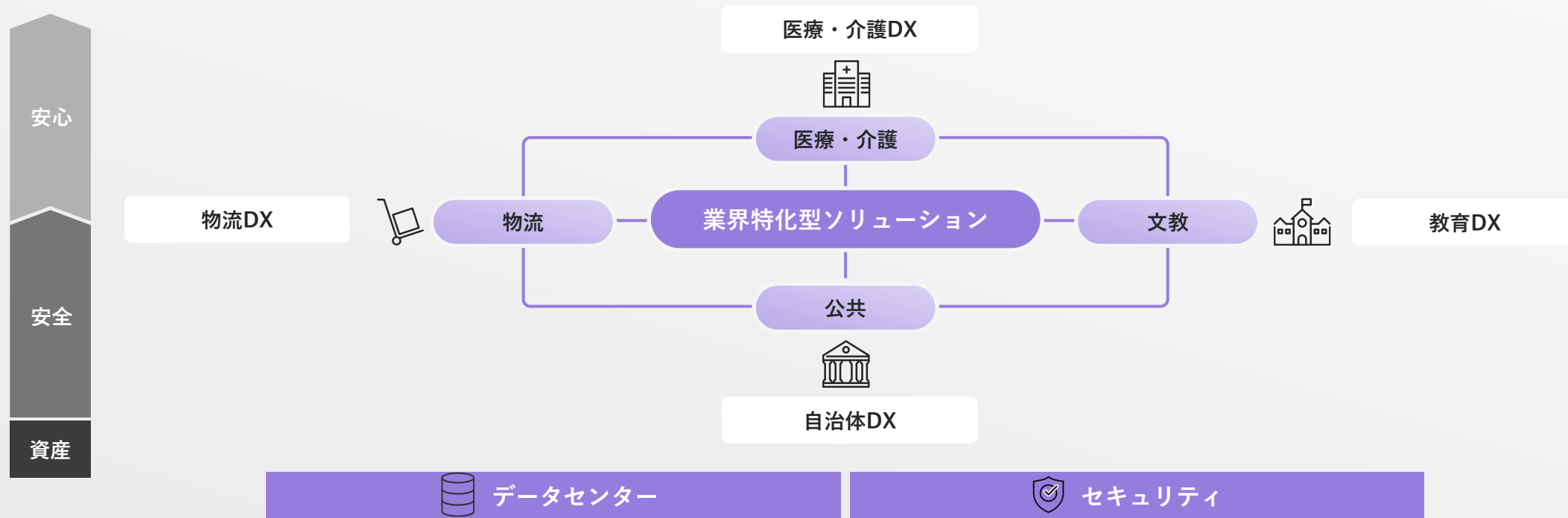
国内6拠点。従来型オンプレ環境から、クラウドサービス環境、ハイブリッド環境まで、多様化するニーズに対応可能な最適ソリューションを提供

セキュリティ事業

セキュリティの脅威から防御し、コンサルティング・設計・構築・運用を提供

業界特化型ソリューション

公共、文教、物流、医療など多様な分野に対応したソリューションを提供



- 安全を人々の安心につなげられるソリューションを創出することで、顧客、業界、そして社会にとって不可欠な会社を目指す

1st ステージ 中期経営計画 2025-2027

コアコンピタンスの強化

- セキュリティサービスの拡充
認証セキュリティと業種別ゼロトラの強化
- データセンターサービスの拡充
クラウドサービスの強化
- 業界特化型ビジネスの創出
医療・物流・公共・文教で業界ノウハウの習得/研鑽

2nd ステージ 中期経営計画 2028-2030

クロスインダストリービジネスへ発展

- 異業種間データ連携
行政サービスの利便性向上
- 見守り
子供・老人向けの安全確保
- トレーサビリティ
医薬品・食品の安全配送

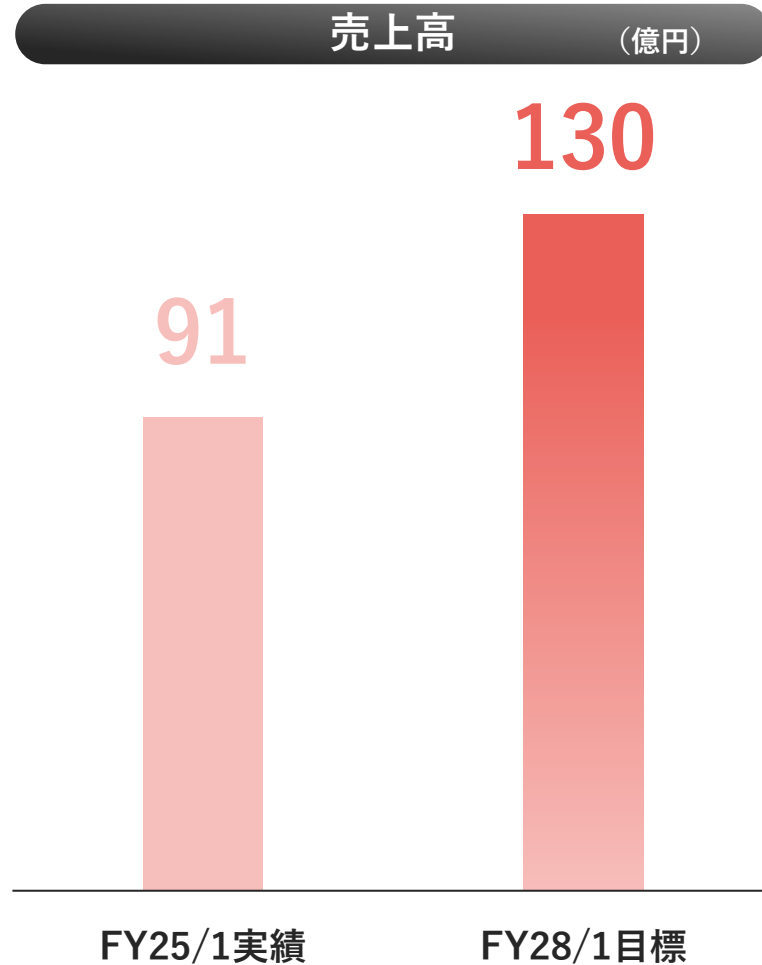
VISION 2030

卓越したICT技術で
安心・安全な社会の
実現に貢献する

安心安全な社会の実現

- 災害・事故からの社会システムの安心・安全
- 人の生存を脅かす問題からの安心・安全
- 人為的な脅威からの安心・安全

- データセンターやセキュリティ技術等のICT資産やノウハウを活用したソリューションを通じて、安心安全の実現に貢献



注力ポイント	
データセンター事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービスへのモデル転換 <p>KPI 新規顧客数：120社以上</p>
セキュリティ事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> 認証セキュリティ強化 業種別ゼロトラストの強化 <p>KPI 新規顧客数：130社以上</p>
業界特化型ソリューションの創出	<ul style="list-style-type: none"> 医療・物流・公共・文教の領域で新たな事業の育成 <p>KPI 新規顧客数：50社以上</p>

– 認証セキュリティ技術を強化して統合セキュリティプラットフォームへ進化

コンセプト

- 一元管理と拡張性
認証・監視を統合し、業界・企業ニーズに応じて拡張可能
- AI活用と自動化
予兆監視や脆弱性管理をAIで強化
- 迅速な導入と適応
オンデマンド型のサービス提供で、導入スピードを向上

対象業界

- 公共・文教・医療・製造など、複数業界に対応



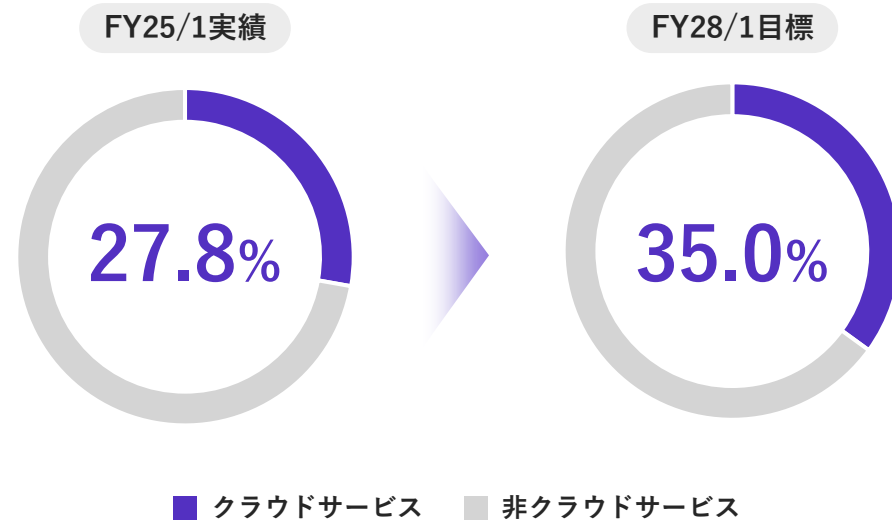
– 認証セキュリティ技術を強化して統合セキュリティプラットフォームへ進化



※ 1 CTEM : Continuous Threat Exposure Management : 企業のセキュリティ態勢を継続的に改善するプログラム

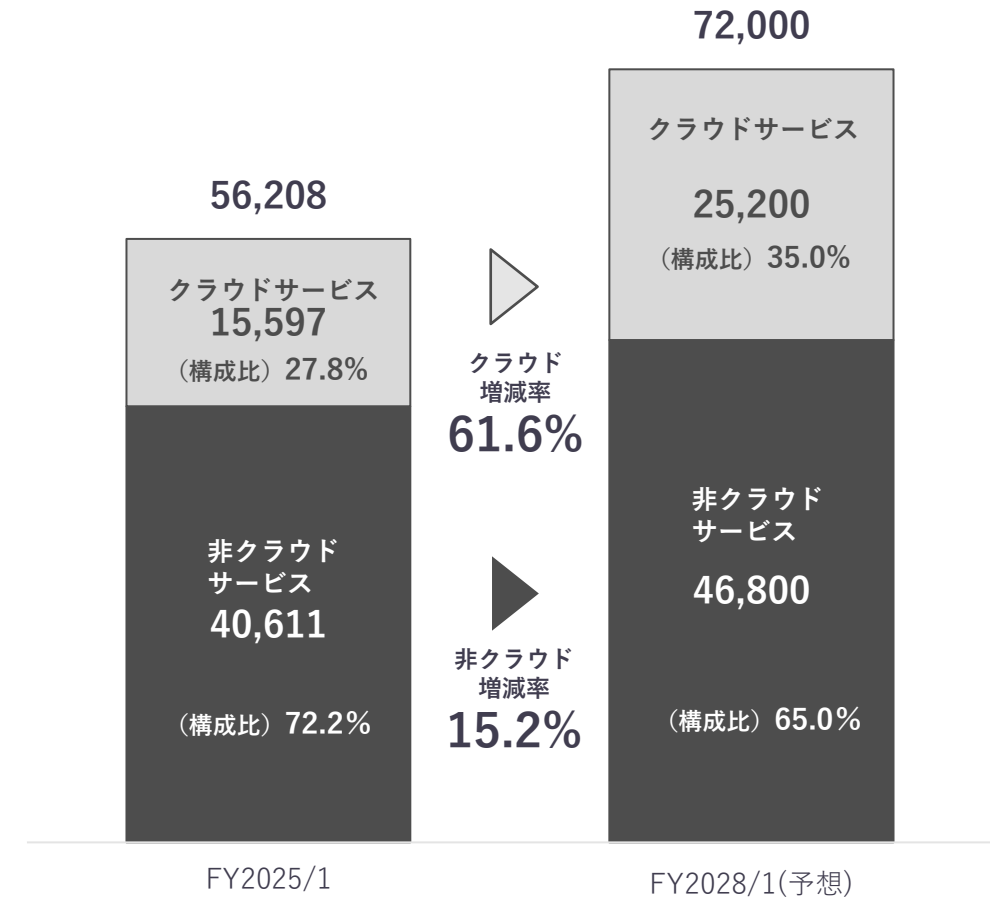
- 提供するサービスやシステム基盤においてはクラウド型へのシフトを加速
- クラウドサービス比率を伸ばし、さらなる利益率向上につなげる

クラウドサービス比率



売上高

(百万円)



クラウド統合基盤「BizAxis」提供

- 自社開発のクラウド統合基盤「BizAxis（ビズアクシス）」により、既存製品のSaaS化、各種クラウド型サービス・プラットフォームの集約を行うことで、全社推進事業（クラウドサービス）の拡大を目指す



クラウドサービス拡大に向けたデータセンター事業再編

- 国内事業拠点を再編、主軸事業をデータセンターサービスからクラウドサービスへと移行
- 新規データセンターはオンプレとクラウドを【融合】するハイブリッドクラウドセンターとして稼働開始



免責事項

- ◆ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ◆ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。記載の会社名・商品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社シーイーシー

コーポレートグループ 事業推進本部 経営戦略室 IR担当

☎ 03-5789-2442

コーポレートグループ 管理本部 財務経理部

☎ 046-252-4111

✉ IR@cec-ltd.co.jp